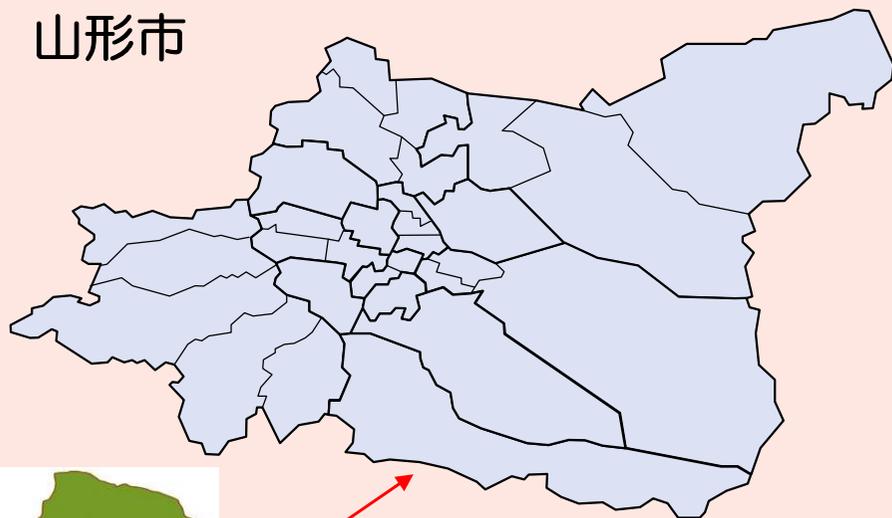


山形市

山形市における精神障がいにも対応
した地域包括ケアシステム構築の推進

1 県、指定都市、中核市、特別区の基礎情報

山形市



取組内容

- 令和3年度から、保健・福祉・医療関係者による協議の場を設置。
- 普及啓発
- 措置入院者の退院後の医療継続に対する支援
- 入院中の精神障がい者の地域移行

基本情報（都道府県等情報）

障害保健福祉圏域数 (R6年4月時点)		1	か所
市町村数 (R6年4月時点)		1	市町村
人口 (R6年4月時点)		240,485	人
精神科病院の数 (R6年4月時点)		5	病院
精神科病床数 (R6年4月時点)		1,100	床
入院精神障害者数 (R5年6月時点)	合計	718	人
	3か月未満 (%：構成割合)	157 21.9	人 %
	3か月以上1年未満 (%：構成割合)	143 19.9	人 %
	1年以上 (%：構成割合)	418 58.2	人 %
	うち65歳未満	117	人
	うち65歳以上	301	人
退院率 (R●年●月時点)	入院後3か月時点		%
	入院後6か月時点		%
	入院後1年時点		%
相談支援事業所数 (R6年11月時点)	基幹相談支援センター数		か所
	一般相談支援事業所数	9	か所
	特定相談支援事業所数	15	か所
保健所数 (R6年4月時点)		1	か所
（自立支援）協議会の開催 頻度 (R5年度)	（自立支援）協議会の 開催頻度	2	回/年
	精神領域に関する議論を 行う部会の有無	有	
精神障害にも対応した地域 包括ケアシステムの構築に 向けた保健・医療・福祉関 係者による協議の場の設置 状況 (R6年4月時点)	都道府県	有・無	か所
	障害保健福祉 圏域	有・無	か所/障害圏 域数
	市町村	有・無	1 / 1 か所/市町村 数

2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組概要（全体）

【市の取り組みの位置づけ】

山形市では、令和6年3月に策定した「第7期障がい福祉計画（令和6年度～令和8年度）」において、精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築・推進に係る成果目標を以下のとおりとしている。

○山形市における保健・医療・福祉関係者による協議の場

成果目標	
協議の場の開催回数	各年度1回以上
協議の場における目標設定及び評価の実施回数	各年度1回以上

3 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組の経緯

○令和3年3月に策定した「第6期山形市障がい福祉計画」を受けて、自立支援協議会の保健・医療部会において、山形市における地域課題を整理。

○課題に合わせた具体的な検討を行うため、保健・医療部会から派生した「山形市精神障がい者課題検討ワーキングチーム」を構成。

○令和4年1月より課題検討・取り組みを開始。検討の経過は随時保健・医療部会や自立支援協議会定例会議において報告をしている。

4 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築に資する取組の成果・効果

<令和5年度までの成果・効果>

課題解決の達成度を測る指標	目標値 (R5年度当初)	実績値 (R5年度末)	具体的な成果・効果
①保健・医療・福祉関係者による協議の場の開催回数	1回/年	2回/年	課題「退院支援における医療機関と相談支援事業所の相互理解」について検討し、理解促進・連携強化の目的で研修会を実施した。
②協議の場における目標設定及び評価の実施	1回/年	1回/年	年度当初の協議の場において目標設定を行い、令和5年度は前年度から継続の課題について協議を行うこととした。年度末に研修会アンケート等をもとに取り組みの評価を実施。課題に対して、研修会を実施することで医療機関と相談支援事業所等の相互理解が深まった。

5 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた現時点における強みと課題

【特徴(強み)】

- ・中核市移行に伴い市保健所が設置され、庁内において保健医療と福祉の連携を円滑に行うことができる。
- ・自立支援協議会において保健・医療について協議をする専門部会があり、精神科病院職員も参加している。

課題	課題解決に向けた取組方針	課題・方針に対する役割(取組)	
①保健・医療・福祉の連携における医療機関多職種理解促進。 ②緊急時の対応等、安定した地域生活のための支援体制構築。	課題検討ワーキングにおいて検討を進める。令和5年度に実施した研修会のアンケート結果も踏まえ、今後の取り組みを検討する。	行政	課題検討ワーキングを開催
		医療	課題検討ワーキングへの参加・協力
		福祉	課題検討ワーキングへの参加・協力
		その他関係機関・住民等	

課題解決の達成度を測る指標	現状値 (今年度当初)	目標値 (令和6年度末)	見込んでいる成果・効果
課題検討ワーキングの開催回数	0回	1回	課題に対する具体的な取り組みを協議する。

6 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築のための連携状況

【にも包括構築の体制】

自立支援協議会における専門部会において検討課題を整理し、具体的な課題検討を保健・医療・福祉関係者で構成されるワーキングチームにおいて行う。

所管部署名	所管部署における主な業務
障がい福祉課	ワーキングの開催

連携部署名	連携部署における主な業務
健康増進課	ワーキングへの参加・協力

各部門の連携状況		強み・課題等
保健	ワーキングに市保健所が参加。 県保健所が主催する圏域での協議の場に参加。	中核市であり、市保健所が設置されているため、庁内の連携を円滑に行うことができる。
医療	市内の有床精神科医療機関の精神保健福祉士及び訪問看護ステーション職員がワーキングに参加している。	課題検討ワーキングに市内すべての有床精神科医療機関の精神保健福祉士が参加している。
福祉	ワーキングに複数の相談支援事業所が参加。	ワーキングに自立支援協議会専門部会の担当相談支援事業所が参加し、協議内容を専門部会にフィードバックできている。
その他関係機関・住民等	高齢者分野の地域包括ケアシステム構築のノウハウをもとに推進するため、ワーキングに基幹型地域包括支援センターが参加。	課題内容に応じてワーキングのメンバーに関係機関等の参加を依頼する予定。

7 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築のための協議の場の実施状況

名称	協議の場の構成員	開催頻度	実施内容	特記事項等(課題・強み等)
山形市精神障がい者課題検討ワーキング	保健、医療、福祉関係機関、行政担当者等	1～4回/年	山形市の課題や取り組みについて協議を行う。	市内の全有床精神科医療機関の精神保健福祉士や訪問看護ステーション、保健・福祉機関の他、高齢者の包括ケアシステムの状況を参考にするために、基幹型地域包括支援センターが出席している。

【その他事項】 ※協議の場運営における課題や悩んでいる点、アドバイザーに相談したい事項など、自由に記載ください

・本事業の目標設定及び評価を効果的に行うためにはどのようにしたら良いか、助言を得たい。

8 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた今年度の取組スケジュール

時期(月)	実施する項目	実施する内容
R6年6月	保健医療部会開催	ワーキングの検討経過を報告。
8月	第1回ワーキング開催	昨年度実施した研修会のアンケート結果等をもとに振り返りと今年度の取り組みについて協議。
調整中	第2回ワーキング開催	第1回の検討結果を踏まえ、取り組みについて協議。